

1. 調査の目的

大洗町は、大洗港の港湾エリアを地域振興の拠点と位置づけていることから、ウォーターフロントの利活用は重要な課題となっている。

そのため、海浜部の土地利用や賑わい空間の創出等について地域の要請、利用者の要請を踏まえつつ、様々な角度から調査・検討し、今後の大洗港ウォーターフロントの整備、利活用のための再開発の構想を示すことを目的とするものである。

2. 対象地区

対象地区は「図表-1」の点線の範囲である。

平成 18 年 3 月の「大洗港港湾景観形成調査」等既往調査並びに地元からの要請を踏まえ、「大洗サンビーチ」「第4心頭」「平太郎浜」を重点検討地区と位置づける。



〔資料〕グーグルアース 2007.5.15 加筆 図表-1 調査対象地区(赤点線)と重点検討地区(赤実践)

3. 検討の内容と計画調査の方法

主な検討項目は、以下のとおりである。

〈主な検討項目〉

- ① 港湾エリアを取り巻く現状と課題の整理
- ② 港湾関係者及び利用者(来訪者)の要望把握
- ③ 利活用方策及び導入機能の検討
- ④ 土地利用計画の検討及び策定(大洗サンビーチ・第4ふ頭・平太郎浜)
- ⑤ 整備可能施設の概略設計及び整備主体の検討
- ⑥ 計画実現に向けた問題点(留意事項)
- ⑦ 計画実現に向けた事業計画策定

主な検討項目に対応した調査の内容および調査の方法は、以下のとおりである。

(1) 港湾エリアを取り巻く現状と課題の整理

〔 調査の内容 〕

大洗港のみなどにぎわい、クルーズポートとしてのあり方に関する現状と課題を整理した。

〔 調査の方法 〕

- ・ 現地踏査
- ・ 既往調査の分析
- ・ 港湾管理者、港湾関係者等へのヒアリング

(2) 港湾関係者及び利用者(来訪者)の要望把握

〔 調査の内容 〕

「大洗サンビーチ」「第4ふ頭」「平太郎浜」の3つの重点整備地区の有効な利活用を検討するため、事業者、市民活動団体等関係各所へヒアリングを行い、意見、要望を把握した。

〔 調査の方法 〕

以下各主体へのヒアリングを行う。

◆事業者

- ・ アウトレットモール、大洗マリーナ等

◆市民活動

- ・ NPO法人大洗海の大学、茨城サーファーズファウンデーション、大洗サーフライフ・セービングクラブ等

◆利用者

- ・ 茨城大学ライフスタイル研究会、NPO法人日本ビーチ文化振興協会等

◆町 民

大洗町第4次総合計画策定における町民アンケート調査より

(3) 利活用方策及び導入機能の検討

〔 調査の内容 〕

大洗港のにぎわい創出は、「大洗サンビーチ」「第4ふ頭」「平太郎浜」の3つの重点整備地区においてより具体的に検討されるが、その利活用方法、導入機能については、関係各所からの意見、要望を踏まえて検討した。

〔 調査の方法 〕

現時点でイメージされる重点整備地区の利活用方法・導入機能は以下のようなものである。

- ◆大洗サンビーチ：都市的施設、ビーチセンター、駐車場、松原（緑陰の確保）等
- ◆第4ふ頭：散策緑地、イベント広場、架設テント等
- ◆平太郎浜：回遊路、海の見えるストラン等

(4) 土地利用計画の検討及び策定（大洗サンビーチ・第4ふ頭・平太郎浜）

〔 調査の内容 〕

「大洗サンビーチ」「第4ふ頭」「平太郎浜」の3つの重点整備地区それぞれに対し、土地利用のあり方を検討した。

〔 調査の方法 〕

- ・ 現地踏査
- ・ ゾーニング図の作成
- ・ 平面図の作成

(5) 整備可能施設の概略設計及び整備主体の検討

〔 調査の内容 〕

「大洗サンビーチ」「第4ふ頭」「平太郎浜」の3つの重点整備地区それぞれに対し、整備可能施設の基本構想と整備主体を検討した。

〔 調査の方法 〕

- ・ 基本構想図の作成
- ・ 整備主体の位置づけ

(6) 計画実現に向けた問題点(留意事項)

〔 調査の内容 〕

「大洗サンビーチ」「第4ふ頭」「平太郎浜」の3つの重点整備地区それぞれにおいて、利活用上、整備推進上の技術的、規制上の問題点、留意事項をとりまとめた。

〔 調査の方法 〕

- ・ 関係者へのヒアリング

(7) 計画実現に向けた事業計画策定

〔 調査の内容 〕

計画実現に向け、北関東自動車道の開通など、想定している周辺環境の変化（メルクマール）をにらんだ、事業計画（ロードマップ）を検討した。

〔 調査の方法 〕

- ・ 関係者へのヒアリング
- ・

4. 大洗港ウォーターフロント整備・利活用の方向

この整備構想計画は、個々のプロジェクトの熟度、課題等を勘案しながら、大洗港ウォーターフロントの整備あるいは利活用の基本的な方向をとりまとめたものである。

この計画は、大洗のより一層の活性化のために、町民、企業に投げかけるために作成したものであり、今後、町民を始めとした関係者の意欲が引き出され、計画が推進されることを期待するものである。

●大洗サンビーチ

(展開方向)

- ◆ビーチの一部をリゾート的な土地利用に！
 - ・ 広大なビーチの一部を緑地並びにリゾート的な土地利用として有効活用することによって、さらに魅力の高い空間とする。
 - ・ なお、リゾート的な土地利用を図る上で、民間が投資したくなるような環境づくりを行う。
- ◆「海」や「ビーチ」におけるイベント・催事・地域の恵まれた食を充実し、大洗ファンの増大を！
 - ・ ビーチスポーツや大洗マリーナを拠点とするトローリング等のゲームフィッシュなど「ビーチ」や「海」を活用したイベントや催事を盛んにし、また四季折々の地域の恵まれた食でもてなすなど、リピーターとなる「大洗ファン」の拡大を図る。
- ◆「ユニバーサルデザイン」で質的向上を！
 - ・ 先進的な取り組みとして全国的にも注目を集めている「ユニバーサルビーチ」の考え方をまちづくり全体に広めると共に、観光立町に相応しい「景観」のリーディングエリアとし、両方合わせて「ユニバーサルデザイン」（ここでは、世界に通用するデザインの意味を含む）のウォーターフロントを形成する。
- ◆スポーツ合宿ができる施設の充実を！
 - ・ 芝の上でスポーツが楽しめるよう、緑地を拡張整備する。
 - ・ ビーチスポーツと相まって、色々なスポーツ合宿ができるスポーツ施設の整備を図る。
 - ・ 合宿の受け皿として、町内の民宿あるいは旅館を基本とする。

●第4の頭

(展開方向)

- ◆港と海と町民が一体となった賑わいの場の創出！
 - ・ 賑わいの場の創出を図るため第4の頭の一部を、踊りや唄など地域芸能、クラブ活動のお披露目の舞台、イベントの舞台として開放する。
- ◆クルーズ船誘致による賑わいを！
 - ・ クルーズポートとしてクルーズ船の誘致に一層力を入れ、飛鳥Ⅱなど日本を代表するクルーズ船が入港できるよう、港湾施設の拡充（岸壁、航路）を図る。
 - ・ クルーズ船を誘致するために、官民一体となった、また県内観光地や日光も含めた広域的な連携の下で、ポートセールスを展開する。
 - ・ クルーズ船が寄港した際には、町民が主体となった「おもてなし」「熱烈歓迎」の式典、イベントを繰り広げ、港の賑わい、港からの賑わい（市街地への誘導を含む）を振興する。

●平太郎浜

(展開方向)

◆「ユニバーサルデザイン」で質的向上を！

- 大洗サンビーチ同様、来訪者が多く集まる旅館街とその前面の海岸線において、観光立町に相応しい「景観」のリーディングエリアとなる「ユニバーサルデザイン」のウォーターフロントを形成する。

◆変化に富んだ海岸線を散策できる「海辺のプロムナード」の整備を！

- 平太郎浜周辺の海岸線は、砂浜あり、磯浜あり、と変化に富んだ表情をみせていることから、「海辺」を散策できる「海辺のプロムナード」の整備を図る。

◆回遊性が高まる「観光的施設」の整備を！

- 平太郎浜周辺において観光客が立ち寄りたくなるような「観光的施設」の整備を図る。